

# 姒良野

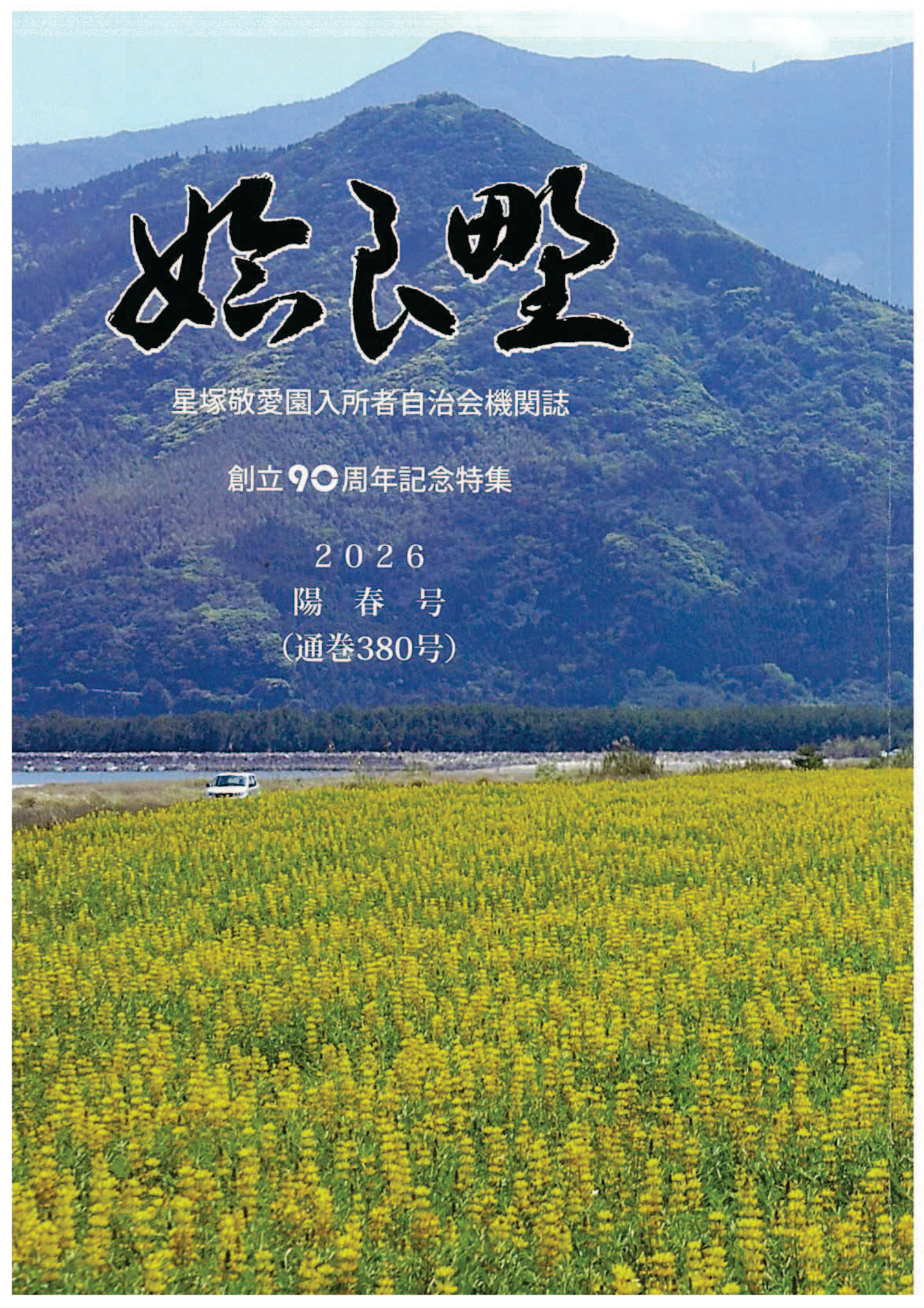
星塚敬愛園入所者自治会機関誌

創立90周年記念特集

2026

陽春号

(通巻380号)





宮田和典先生

宮崎県都城市にある宮田眼科病院は1985年以来、先代の宮田典男先生の頃より、敬愛園入所者の委託診療を受け入れています。

2025(令和7)年12月14日(日)、目の病気に不安を抱えながらも、遠方のため当病院まで出向くことが出来ない入所者の方々に少しでも貢献できればと、総勢19名のスタッフが来園されました。

この敬愛園診療は2010(平成22)年11月3日に始まり、途中2020(令和2)年にコロナのため中止となりましたが、今回で15回目となります。前日から機械をお送り下さり、無償で13名の診療をしていただきました。

診療前に入所者の皆様に向けて、園内テレビ放送にてご挨拶をいただきましたのでご紹介します。

## 宮田眼科病院

MIYATA EYE HOSPITAL

## 敬愛園診療

子島良平先生



宮田眼科病院 院長

宮田和典

敬愛園の皆様おはようございます。宮田眼科病院の宮田です。

本日は恒例になりました訪問診療に参りました。訪問診療は今年で15回目になります。敬愛園の皆様との診療のお付き合いも28年になります。時が流れるのは早いものです。

先日の敬愛園90周年のお祝いの際には感謝状を頂きまして、本当にお礼申し上げます。皆さんとお会いするたびに、勉強させて頂いているのは我々の方なので、本当に感謝しております。

私とハンセンとの付き合いというのは37年くらい前、東京の清瀬

の多磨全生園に始まりますけれども、以来多くの患者様の診察をさせて頂いております。東京四谷に在ります当院のクリニックでは、多磨全生園で診察していた患者様の診察もさせて頂いております。昨年もしお話しさせて頂きましたけれども、以前敬愛園にいらしたことがあるKさんという方も定期的に東京で診察させて頂いております。「今年も敬愛園に行きますよ」とお話ししたところ、「皆さんによろしくお伝えください」と仰っていました。

さて今回は都城の宮田眼科病院と鹿児島島の鹿児島宮田眼科から医師6名と13名の職員で皆さんの治療に当たらせて頂きます。今年もどうぞよろしくお願いたします。

宮田眼科病院 副院長

子島良平

敬愛園の入所者の皆様、スタッフの皆様おはようございます。宮田眼科病院の副院長の子島です。

今年も例年より少し遅い季節の肌寒い時期ではありませんけれども、訪問診療に來させて頂きました。

今山口会長とお話させて頂いたのですが、園の今後の在り方とかについて夢のあるお話をさせて頂いた頂きました。私達も來られる限りはこちらに來させて頂きますので、よろしくお願いたします。



**【写真】**  
1-4 診療の様子  
5 社会交流会館にて  
ボタン通し体験  
6 納骨堂お参り  
7 記念碑前にて集合写真



●両目手術してからもう十何年経ちますが、調子は良いです。宮田先生にもそう言っていると、「大丈夫、変わりはない」と言われて安心

を取ったならばやーっとしてからの。こっちから宮田眼科まではもう行けないので。

昔、父を遠い

田舎まで迎えに

行って、次の日

に都城の宮田眼

科まで連れて行

きました。三日目

にまた田舎まで連れ帰った

思い出があります。

(Yさん)

●都城から来て下さること

は本当に嬉しいです。私た

ちは普段そういう機会に巡

り合わないですが、今日の

ように診てもらえることは

大きな喜びです。他の皆さ

んもここで心配なく診ても

らえることは、とても幸せ

だと思います。だから私も

目は大事にしないとイケな

いと思つてます。診てもらっ

て、良かったらそれはそれで

喜び。悪くて「治療しま

しょう」って言われたら、

それも感謝です。(Fさん)

年より少し落ちましたが、毎年宮田眼科敬愛園診療は受けています。

(Yさん)

●子島先生が上下左右いろいろ見てくれました。見えないことはないけど、眼鏡



声

